

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 8 月 5 日(2022.8.5)

【公開番号】特開 2021-19886(P2021-19886A)  
【公開日】令和 3 年 2 月 18 日(2021.2.18)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-008  
【出願番号】特願 2019-138472(P2019-138472)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 28 日(2022.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者に有利な有利遊技状態にするか否かの判定を行う判定手段と、  
所定の表示部と、前記表示部の前方を移動可能な特定の可動体とを含む所定の演出手段  
を用いて演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

所定の分岐前演出を経て、前記有利遊技状態になることを示唆する成功演出、又は、前記  
有利遊技状態にならないことを示唆する失敗演出のいずれかの結果演出に分岐する特定演  
出を前記表示部に表示することと、

30

前記結果演出の実行前に、前記特定の可動体を前記表示部の第 1 端側に移動させる非特定  
移動演出を実行することと、

前記非特定移動演出の実行後に前記結果演出として前記失敗演出を実行した場合に、前記  
特定の可動体を、前記表示部の前記第 1 端側から第 2 端側へ移動させる特定移動演出を実  
行することと、が可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機であって、

前記演出実行手段は、前記表示部における前記特定の可動体よりも前記第 2 端寄りの表示  
領域に、前記失敗演出を表示することを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

40

請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機であって、

前記演出実行手段は、前記非特定移動演出の実行後に前記結果演出として前記成功演出を  
実行する場合、当該成功演出の実行タイミングと同じタイミングで、前記特定の可動体を  
、前記特定移動演出の動作パターンとは異なる動作パターンで動作させる所定の可動体演  
出を実行することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

## 【 0 0 0 4 】

ところで、遊技者に有利な遊技状態になるか否かを示唆する手法については、遊技の興趣を向上させるため、未だ改良の余地がある。

## 【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 0 5 】

本発明の遊技機は、

10

遊技者に有利な有利遊技状態にするか否かの判定を行う判定手段と、

所定の表示部と、前記表示部の前方を移動可能な特定の可動体とを含む所定の演出手段を用いて演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記演出実行手段は、

所定の分岐前演出を経て、前記有利遊技状態になることを示唆する成功演出、又は、前記有利遊技状態にならないことを示唆する失敗演出のいずれかの結果演出に分岐する特定演出を前記表示部に表示することと、

前記結果演出の実行前に、前記特定の可動体を前記表示部の第1端側に移動させる非特定移動演出を実行することと、

前記非特定移動演出の実行後に前記結果演出として前記失敗演出を実行した場合に、前記特定の可動体を、前記表示部の前記第1端側から第2端側へ移動させる特定移動演出を実行することと、が可能であることを特徴とする遊技機である。

20

30

40

50